

事例2 フィルタリングを外してほしいと言われた

新しく携帯電話を買ってもらった栄子さんは、さっそく塾のサイトを携帯電話から見ようとしたが、フィルタリングのためにアクセスできませんでした。

そこでお母さんに、「塾のサイトにアクセスできないから、フィルタリングを外してほしい」とお願いしました。

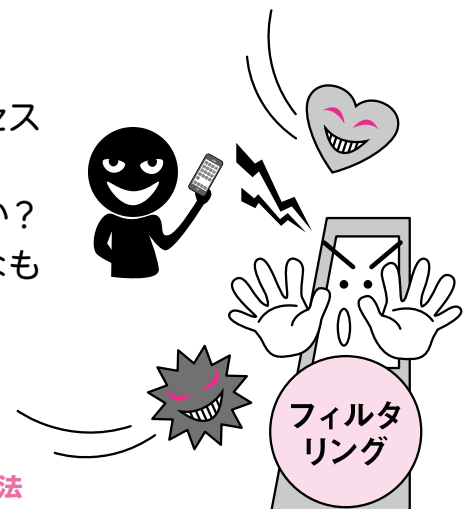


この事例の問題点は？



グループワークで考えてみましょう！

- フィルタリングを解除しなければ、見たいサイトへアクセスできないのでしょうか？
- フィルタリングを外すと、どんな危険があるのでしょうか？
- お子さんの年齢に合ったフィルタリングは、どのようなものなのでしょうか？



参照 P27 フィルタリングで子供を守る方法



親子で話し合うつもりで考えてみましょう！

子供と一緒にこの事例について考えた時、子供から次のようなことを言われた場合どのように対応しますか？

質問例①

子： 塾のサイトが見られなかったらケータイを持っている意味がないから、フィルタリングはしない方がいいよね。

親： その時、どのように答えますか。



質問例②

子： フィルタリングなんて使っている友だちはいないよ。

親： その時、どのように答えますか。



この例のほかにも、子供が質問しそうなこと、相談しそうなことを話し合ってみましょう。

ミニコラム

「子供たちを有害情報から守るフィルタリング」

フィルタリングとは…インターネット上のアダルトサイトや暴力等、有害情報が含まれるサイトを画面に表示しないように制限する機能です。

フィルタリングの主な種類

- ①ホワイトリスト方式…学習に役立つページなど安全と思われるサイトのみを閲覧することができ、それ以外は閲覧できないようにする方式です。
- ②ブラックリスト方式…出会い系サイトやアダルトサイトなど、子供にふさわしくないサイトの閲覧ができないようにする方式です。
- ③カスタマイズ機能…フィルタリングをかけていても保護者が許可したサイトは閲覧できるようにしたり、アクセス制限の範囲を変更したりすることができる機能。この機能を利用すれば、家庭事情や子供の成長に合わせて、閲覧可能なサイトを選ぶことができます。

※「青少年インターネット環境整備法」により、18歳未満の子供に携帯電話を使用させる場合は、フィルタリングの原則加入が義務付けられています。

子供たちを守るフィルタリングですが、万能ではありません。事例3～事例9を参考に親子で話し合い、どんなルールができそうか考えてみましょう。

